

守護姫。この世界の
怪人と呼ばれる人達を
倒すために現れた女たち。



ある日偶然天使に力を
与えられた彼女らは
私の仲間をどんどん倒し、



アイドルみたいに人気に
なってる人もいるとか。

人ばっ

そーんないけ好かない奴が
アへ顔晒してるなんて
最高ですよねぇ♪

人ばっ

ぽん

あ、手を休めちゃ駄目ですよ。



さあ、ゲームを
続けましょう♪。

どうして
こんなことに……!!

あの日、いつものように
私はレイカ先輩と
一緒に戦っていたんだ……

レイカ先輩。歴戦の猛者で
これまで何体もの凶悪な怪人を
倒してきた私の憧れの先輩。

本当だったら私なんか会えないけど、
新人の研修のために奇跡的に
コンビになることが出来たんだ。

いや、そんなことはないよ。

ミハルなら私抜きでも
大丈夫だったさ。

今回の相手は
手強かったですね……
先輩がいなかったら
今頃……

先輩は強く、そして
それ以上に優しくかった。

ある日の戦闘、
私が怖くて動けなかった時
先輩は言ってくれたんだ。



おにっ

あ...

すん

よっ

気持ち分かるよ。
私も戦うのは怖い。
誰かに守って欲しい
時だってある。

でも勇気を振り絞って
誰かを守った時に思うんだ。
ああ、頑張ってたかったなって。

きっとキミもすぐに分かるよ。

ににに

その後も先輩はずっと優しく、
私も今まで以上に頑張った。

研修を終えて
先輩の元を離れるのは
すごく寂しいけれど
期待に応えたかった。



それなのに...

そこにコイツ、怪人の
ズイーラが現れたんだ…



ゴゴッ

ダッ!

間髪入れず新手かつ!
ミハル、少し休んでいろ!

ちつ、躲しましたか。

さすがは歴戦の戦士と
いったところですかね…

ですがここまでです。
すぐ楽にしてあげますよ!

先輩と怪人の激しい攻防。
私はただ見ていることしか
出来なかった。

わ…
私だって…

ぎゅ…

それでも先輩が頑張っ
ているのにじっとして
るなんて我慢できなかった。

私は飛び出した。
自分が少しでも
力になれると信じて。

先輩!!
私モ…

そこから先は覚えていない。
でも結果として言えるのは…

私は無力で大切な人を守るところか
その足を引っ張っただけだった。

あ…

ミハル!?



それとも、もう
終わりにしますかあ？

ぼーっとして
どうしたんですかあ？
ちゃんと調教のパネルを
押さないと駄目ですよお？



うう…

でも…

どちらかが身体を差し出して
様々な調教を受ける。
心が折れなかったらあなた方の勝ち。
そういう約束じゃないですかあ。



だから私が身体を
差し出したんだろうっ！
なのにミハルまで巻き込んで…

くわっ！

卑怯者めっ！

くっ！

んがおお！！

ずぼー！

卑怯者？

何を言っ
て
いるんですか？

約束通り彼女は
こんな風に犯されては
いないじゃないですか。

それとも二人で
仲良く苗床にでも
なりたいたいですか？

グッ

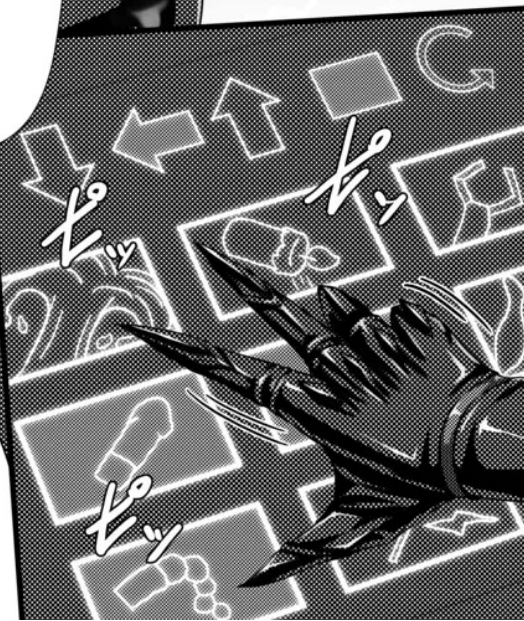
ずっ

おっ♡

ずっ

ズン

おっ





そもそもあなた方は
負けてるんですよ？

あんな負け方だと
可愛そうだから
情けでチャンスを
あげているというのに…

私の優しさに少しは
感謝して欲しいですねえ。



続きをどうぞ♪



おっといけない。
つい夢中になって
しまいました。



さあ、ミハルさん。



安心しろ！
キミを守るためなら
いくらでも頑張るさ！

にー
にー
にー

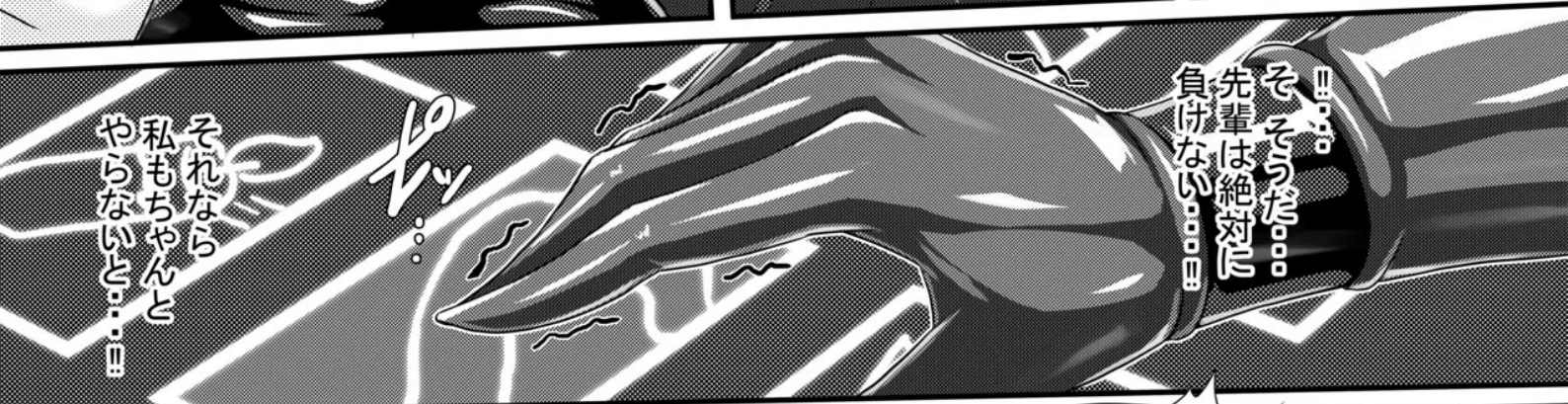


ミ、ミハル…
そんな顔をするな…

私なら大丈夫だ…

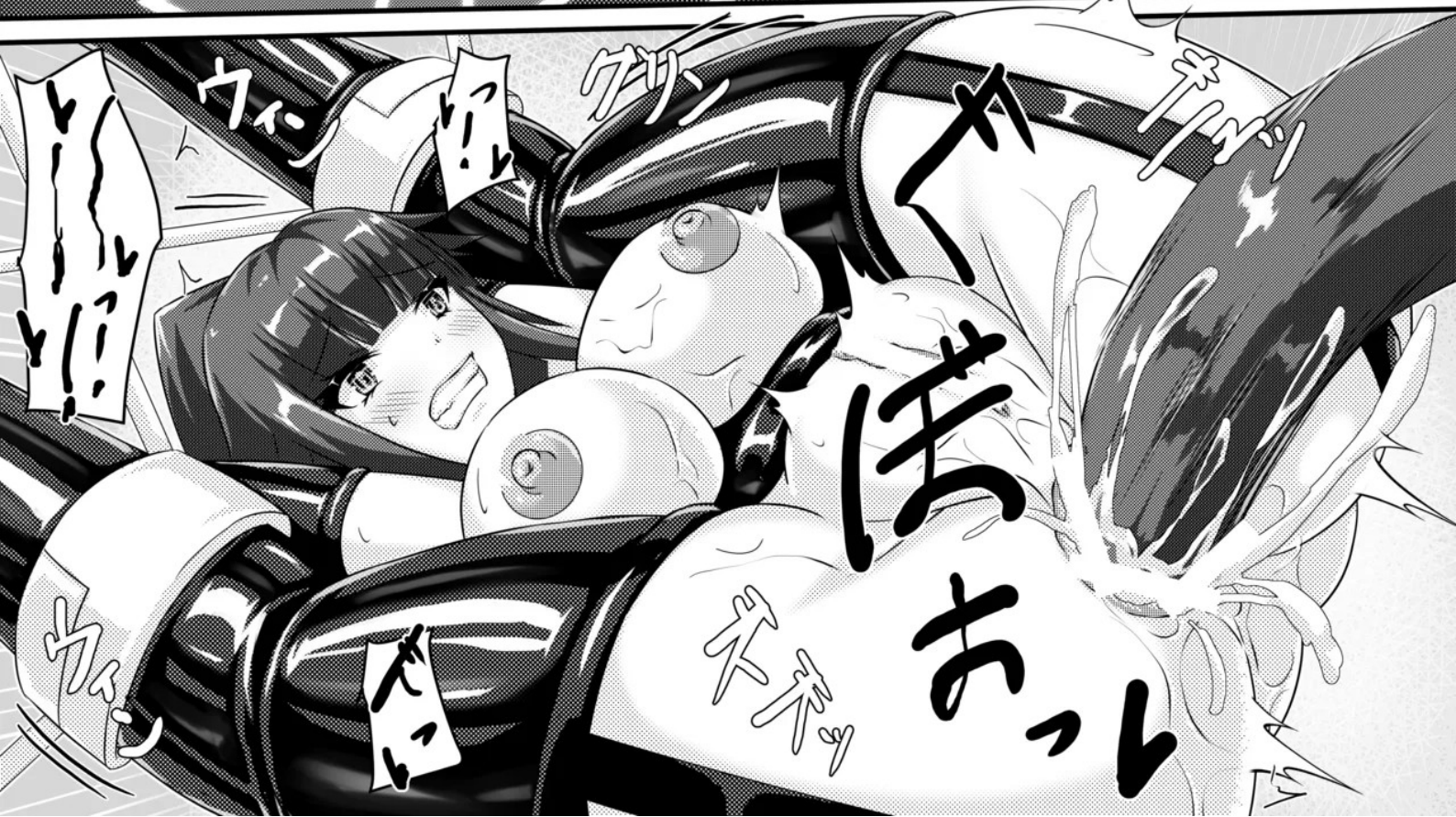


いやだ…
わたしのせいなのに…
これ以上先輩を
ひどい目に…



…
…
…
先輩は絶対に
負けない…

それなら
私もちゃんと
やらないと…



ぼ
お
ん

ウ
ン

ウ
ン

ウ
ン

ウ
ン

ウ
ン

ウ
ン





ふふふ、それでは
フィニッシュです!

ぐわー

んっ♡くっ...
なんだ...?

んっ♡くっ...
なんだ...?

止まって
膨らんで...

ぐわー
ぐわー
ぐわー

ぐわー

ぐわー

いや、愉快愉快!
さあ次に行きましょうか♪

...私の手で先輩を
汚しちゃったんだ...

大好きな先輩を
私の手で...

それから私の先輩を調教する
日々がはじまった。

いいきますよ……



ズイーラに指示される
アブノーマルな調教の数々……

もともと早く
歩いて下さい

私は命令されるがまま
先輩を攻めたてた。



被虐と快楽が
繰り返される日々…

それでも先輩は
決して音をあげなかった。



今日はこれくらいにしましょう。
後片付けは頼みましたよ♪



ああ…
汗と愛液でこんなに
なっちゃって…

先輩…
今解放して上げますね



そんな先輩の姿を
見ている内に私は…



いやはやまさか
ここまで耐えるとは…
敵ながら天晴れです。

とはいえ私も忙しいんでね。

名残惜しいですが
次で最後にしましょう。

ミハルさん、
準備はいいですか？

私は…
負けは…

は、はい…

ミハル…!!
なんだ…それは…!!

はっ!!



淫乱なあなたでも
満足出来る特製の
チンポをあげたんですよ♪

ふふふ♪簡単な勝負です。
一回射精して堕ちなかったら
あなたたちの勝ち。
解放を約束しましょう♪

貴様…
なんてことを…!!



果たして調教された
身体で耐えられますかねえ♪

それではミハルさん。

いばあああ!!

うあああ!!

どうぞ楽しんで下さい♪

…ついに憧れの先輩を
犯してしまった…
私が直接、私のチンポで…

こんなこと駄目なのに…
いけないって
分かってるのに…

先輩のおマンコが気持ちよすぎて
腰が止められないよお…♡

でもきつと…
これで最後なんだ…

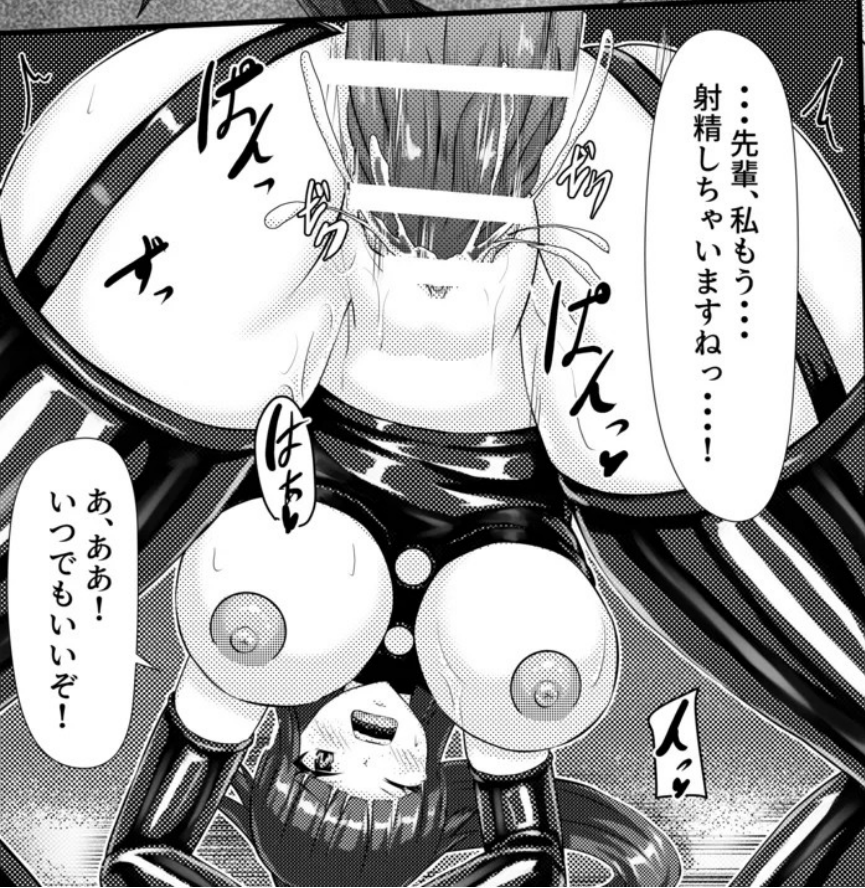
ミ、ミハル…!

そんな辛そうな
顔をするな…!

あと少しなんだ!
早く終わらせて
一緒に帰ろう!



私は先輩を...







ぐぼっ

んぐー!!

ああ：すごい…
先輩の口まんこも
気持ちいい…♡

…私、気付い
ちゃったんです

先輩が好き
だってことに。

だから決めました♪

でも先輩とはここを出たら
きつと別れてしまう。

そしたら私なんかじゃ
もう会えないんです。

んぐー!!

私は先輩とずっと
一緒にいたいのに…

おはな

もう守護姫なんてどうでもいい。
先輩と出来る限り一緒にいようって。



ミハル…
そんな…

いやー素晴らしい！

うっ…
あなたの強い愛！
私、感動しちゃいました！



…はい！



どうでしょう？
いっそのこと
こちら側へ来ませんか？

私に付いてくれば
あなたの望みを叶えて
あげられますよ？



そうと決まれば
行きましようかね。

先輩は…

少し待ってて
貰いましょう！



ま、まで…！！

いくな！
ミハルッ！

ミハルッ！！



ミハル…
その姿は…！

うふふ♡
どうですか私の姿。
すごいいでしょう♪

ズイーラさん達に
改造してもらったんです。

アテナ
守護姫だった頃の
何倍も強く
なったんですよ♪

うわー！

トサン

もちろん先輩をもっと
イジメられるパーツも
つけてもらったんです。

新しい私の力…
先輩にたっぷりと
味わって貰いますね♡

やめろ…

やめろ…

ふふ♡おっぱいを
犯される気分は
どうですか？

ああ、いい声…♡
とっても気持ちいい
みたいですね♡

もっとほじくって
あげますよ♡

ああごめんなさい。
アナルを忘れてました。

先輩はこっちも
大好きですもんね♡

えへ♡先輩の全部の
穴を征服しちゃいましたあ♡

満足して貰えるようで
私も嬉しいですよ♡

このままこれで
可愛がつてあげても
いいんですが...

私もそろそろ
気持ちよく
なりたいですし

先輩ももっと太くて
ごっこつしてる方が
好きですよね♡

やっぱりこつちで
愛してあげますね♡

人はあ女あ女!!



ミ、ミハル…
待ってくれ…!!

ぬち…

ほん

んはあ♡先輩の
おまんこ気持ちいいよおっ♡

んはあ♡先輩の
おまんこ気持ちいいよおっ♡

ヒダのひとつひとつが
私のチンポに
絡みついてくるっ♡

先輩も気持ち
良いですね？

私頑張りますから
いっぱいっばい
感じて下さいね♡

ん

ん

ん

ぱちゅ

ぱちゅ

ん



んあっ♡射精しちゃううっ♡
先輩のまんこ最高ですう♡

ううっ…

すまないミハル…
私が弱いせいでこんな…

キミを…守ることが
出来なかった…!!



先輩。
それは違いますよ。

こうなったのは
私のせいなんです。

弱くていつも守って貰う
ことしかできませんでした。

先輩は私なんかより
ずっと強くて素敵です。

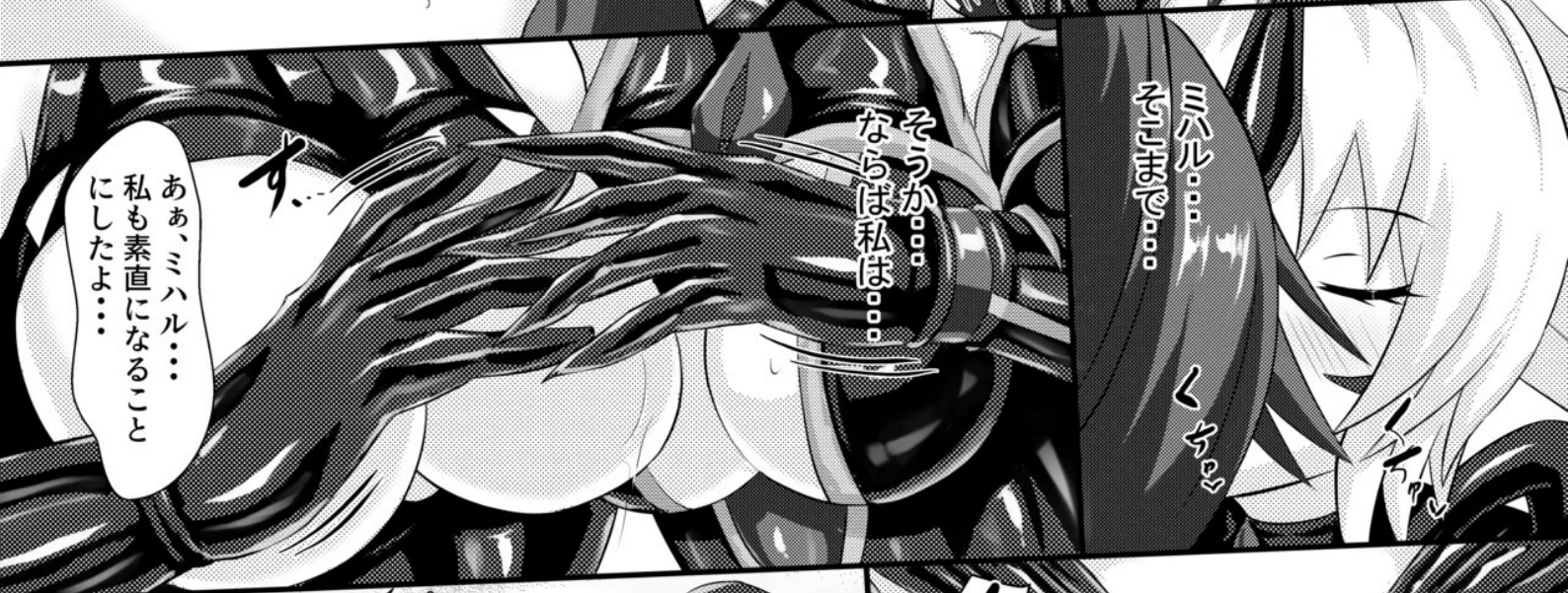
どうしようもなく
先輩も傷つけて
しまつて…でも…

それでも大好きな先輩と
一緒にいたかったんです。



だから私に償わせて欲しいです。先輩がもう傷つかなくて済むように…

今度は私に先輩を守らせて下さい♡



そうか…ならば私は…

ミハル…

くちゅ

ああ、ミハル…私も素直になることにしたよ…



おまんこだけじゃ足りないんだ…わ、わたしの淫乱な穴を…

その、ミハルの手で…もっと犯してくれないか…？

せ…先輩…♡

もちろんです!

私、頑張ります!

んはぁぁぁ!!

淫乱な先輩にも
満足して
貰えるように...

私のまんこケツ穴が
ミハル専用の穴にっ♡
ん♡ 変わってしまうう♡

あゝ私の中で
暴れまわってるっ♡

んおっ♡太いい♡
凶悪チンポと
ごつごつした尻尾がっ♡

えへへ♡先輩は
もう私のモノなんです♡

いっぱい犯して
私以外では満足できない
身体にあげますね♡

んっ♡これすごおっ♡
まんこケツ穴の奥まで
かき回されてるっ♡

ああ♡根本まで
飲み込んじゃうなんてっ♡

どれだけ淫乱なんですかつ
私も負けてられないですっ♡

んほおっ♡きもちいいのが
体の芯まで響いてくるっ♡
おっ♡イってしまおう♡





ああっ幸せ過ぎますっ♡
堕ちてよかった♡

こんな日が来るなんてっ♡
一緒にいられるなんてっ♡

私も幸せだよ♡
こんな気持ちは初めてだ♡

これからはミハルと
ずっと一緒にいるからな♡



んっ♡ミハルのチンポが
振るえてるぞっ♡

ああいいぞっ♡
射精してくれっ♡

んはああ♡
先輩っ♡私もう
イっちゃいます♡

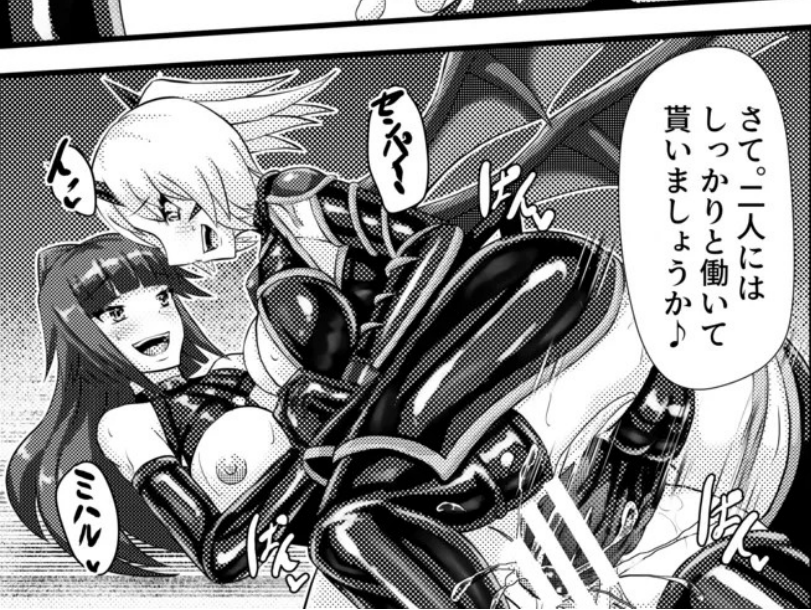
ミハルのザーメンを
膣内に存分に
射精してくれえっ♡



イクッ♡

イクッ♡

イクッ♡



うふふ♡先輩と私の
前では守護姫なんて
敵じゃないですね♪

あなた達なんかは
先輩は指一本
触れさせません♪

先輩は私だけのモノ
なんですから♡

さあ先輩さつさと
終わらせましょう♪

あとでいっぱい
可愛がって
あげますからね♡

あ…っ

くさ

淫辱墮落遊戲

—Entwined in the Sweet
Abyss of Corrupted Love—

R18
成年向け



Presented by

背徳研究所
黒鎧

I Never Want to Let You Go, Forever